

Super NEO 29 TYPE II

スーパーネオ29 タイプⅡ

(ハイパーネオジオ64対応筐体)



取扱説明書

- 本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してください。
- この説明書は、お読みになった後、いつでも使用できるように必ず所定の場所に保管してください。



The Future Is Now
SNK

HARD CANDY

WWW.HARD-CANDY.COM キャンデー
ハード

はじめに

このたびは、お買い上げ誠にありがとうございます。

本書は、本製品の所有者、管理者、運営者の方を対象としたものです。本書では、設置、運営、保守、点検、移動など、本製品を安全にご利用いただくための方法が説明されています。本製品の設置、運営、保守、点検、移動などにあたっては、本書を熟読、理解された方が行うようにしてください。また、本書は、日常運営時など、必要な際にすぐ見られるよう大切に保管してください。

本製品の部品交換、保守、点検、異常時の対処は、店舗メンテナンスマンまたは技術者の方が行ってください。

《店舗メンテナンスマン》

店舗メンテナンスマンとは、AM機器のメンテナンスの経験を有し、AM機器の所有者及び運営者の管理のもとに、AM施設内または店舗内で、日常的にAM機器の組立設置、保守点検、ユニット及び消耗部品の交換などを通じて機器の保守管理に携わる人をいう。

《技術者》

技術者とは、AM機器製造メーカーで機器の設計、製造、検査、メンテナンスサービスに携わる人、並びに大学、高校あるいは専門学校などにおいて機械工学または電気工学の単位を取得し、もしくは取得した人と同等の知識を持ち、日常的にAM機器の保守管理、修理に携わる人をいう。

※本書を破損、紛失された場合、本書裏表紙に表記された弊社技術サービスセンターまでご連絡ください。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、人身事故や財産への損害を未然に防ぐと同時に、本製品を安全に使用していただくために必ずお守りいただきたい事項を記載しています。これらの事項を十分に理解した上で、本製品をご使用ください。

◎シグナルワードについて◎



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 本機は屋内専用です。本機を屋外や次のような場所に絶対に設置しないでください。故障や事故の原因となります。

- ◎室内プール、シャワー近辺などの湿気が多い場所
- ◎直射日光の当たる場所
- ◎暖房器具などにより直接熱せられる場所や危険物の周辺
- ◎ホコリの多い場所
- ◎雨漏りや漏水の発生しやすい場所
- ◎空調器具の近くなど、温度差の激しい場所
- ◎ぐらついた台の上、傾斜がある所、振動が激しい所などの不安定な場所
- ◎消防設備や危険物の近く

- 次の場合は、ただちに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。もし、そのままの状態で使用すると、火災や感電などの事故の原因となります。

- ◎故障を起こした場合
- ◎破損した場合
- ◎内部に水や異物などが入った場合
- ◎発煙や異臭、異音が生じた場合

- 本機の上に、液体(飲料など)の入った容器や小さな金属類を置いたりしないでください。本機内部に水や金属物が入ると、火災や感電などの事故の原因となります。

- 本機の各コネクターの接続は、確実に行ってください。差し込み不足や誤った接続は、火災や感電などの事故の原因となります。

- ソフトカセットの交換などの通電部分に関する作業や筐体の点検を行う場合は、必ず本機の電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源の入った状態での作業は、火災や感電などの事故の原因となります。

- お客様ご自身による模倣、改造行為は絶対に行わないでください。火災や感電などの事故の原因となります。
- モニターの背面部には絶対に手を触れないでください。高電圧部分があるため、電源プラグを抜いたあとでも、触れると感電の原因となります。
- 万一、落下などによりキャビネットを破損した場合は、ただちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの事故の原因となります。
- 電源は必ずAC100V±10Vコンセントを使用してください。また、電源プラグは必ず専用コンセントを設けて、そこに接続してください。同一電源ラインに大容量の機器（エアコンや大型筐体など）を接続している場合、火災や感電などの事故の原因となります。
- アース線は必ず取り付けてください。アース線を取り付けないと、漏電の時、感電事故の原因となります。
- コンセントとアース線は最短距離で設置し、電源コードが露出しないように配線してください。また、やむを得ず電源コードが露出する場合は、必ず保護カバーなどでしっかり保護してください。配線が通路上などに露出していると、コードが傷ついて火災や感電などの事故の原因となるだけでなく、コードにつまずいてケガをしたりする原因にもなります。
- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、上に重いものを乗せたりしないでください。コードが傷つき、火災や感電などの事故の原因となります。
- 筐体の移動は、電源プラグをコンセントから外して、電源コードをリア電源ボックス内に収納した後で行ってください。故障や感電の原因となるだけでなく、コードにつまずいてケガをする原因にもなります。
- 本機の移動・運搬は、必ず複数の人員で慎重に行ってください。事故やケガを防ぐために必要です。（→P11参照）
- 階段や傾斜面を運搬する場合、本機を無理なく持ち上げることのできる人数で行ってください。
- 本機を設置する際は、底部に備えられた4つのアジャスターを微調整して、必ず本体を水平に固定してください。倒れたりして、ケガや事故の原因となります。なお、アジャスターは上から見て右方向へ回すと下がり、左方向へ回すと上がります。（→P12参照）
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電事故の原因となります。



- 本機の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガの原因となるだけでなく、キャビネットの破損の原因となります。
- 本機を長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 使用適用温度（周囲温度）5℃～40℃の場所に設置してください。適用温度の範囲を越えると、故障の原因となります。
- 輸送や移動の際は、大きな衝撃を与えないように注意してください。破損や故障の原因となります。
- I Cボードの回路検査は、必ずロジック・トーンをご使用ください。テスターを使用すると、故障の原因となります。
- 交換部品及びヒューズは必ず指定された規格にあったものをご使用ください。規格以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- 本機背面のサービスコンセントは、筐体補修時に使用します。他の筐体の電源としては使用しないでください。
- 本機に揮発性の液体（ベンジン、アルコール、シンナー、殺虫剤など）をかけないでください。キャビネットに付着すると、塗装がはげたり、光沢が失われたりする場合があります。
- 電源プラグをコンセントに差し込む場合は、必ず本機の電源スイッチをOFFにしておいてください。また、電源プラグをコンセントから抜く場合も、同様に本機の電源スイッチがOFFになっているかをご確認ください。電源のON/OFFを電源プラグの抜き差しで行うと、故障の原因となります。

（設置上のおねがい）

本機を非常口の近くや消火器などの防災設備の周辺に設置することは絶対におやめください。災害や事故の際に、避難や消火活動などの妨げとなります。

（筐体のお手入れについて）

- 筐体が汚れた時は、柔らかい布でから拭きするか、もしくは水拭きしてください。汚れがひどい時は中性洗剤をご使用ください。
- モニター画面は帯電防止コーティングが施されていますので、柔らかい布で強くこすらず、から拭き、または水拭きをしてください。

目次

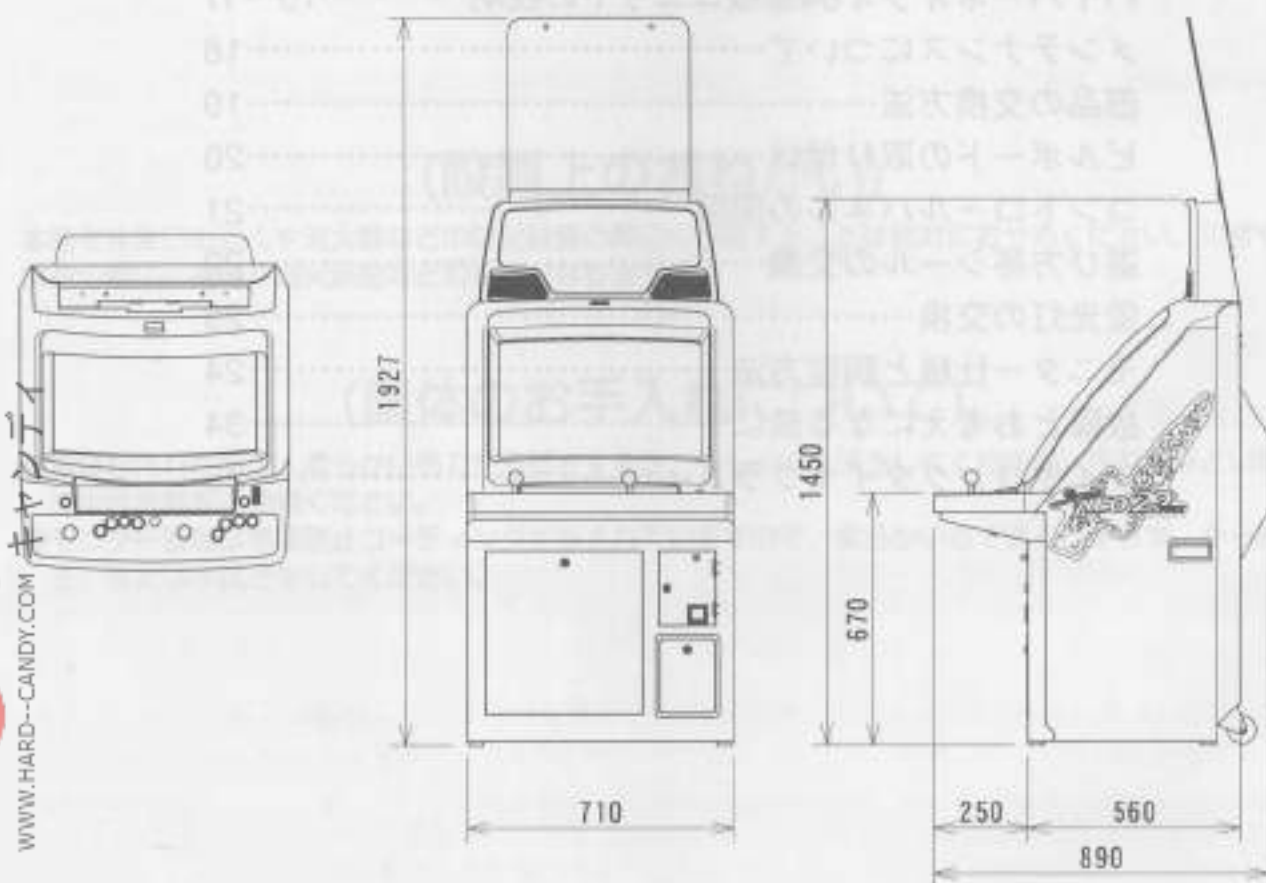
はじめに.....	1
安全上のご注意	2~4
目次.....	5
本機仕様.....	6
各部構成図.....	7
各部構成パーツ.....	8~10
移動について.....	11
設置方法.....	12
スイッチング電源ユニットの説明.....	13
コントロールパネルの配線.....	14
ハイパーネオジオ64基板ユニットの説明.....	15~17
メンテナンスについて.....	18
部品の交換方法.....	19
ビルボードの取り付け.....	20
コントロールパネルの開閉.....	21
遊び方帯シールの交換.....	22
蛍光灯の交換.....	23
モニター仕様と調整方法.....	24
故障とお考えになる前に.....	34
ワイヤリングダイヤグラム.....	36

○本機仕様

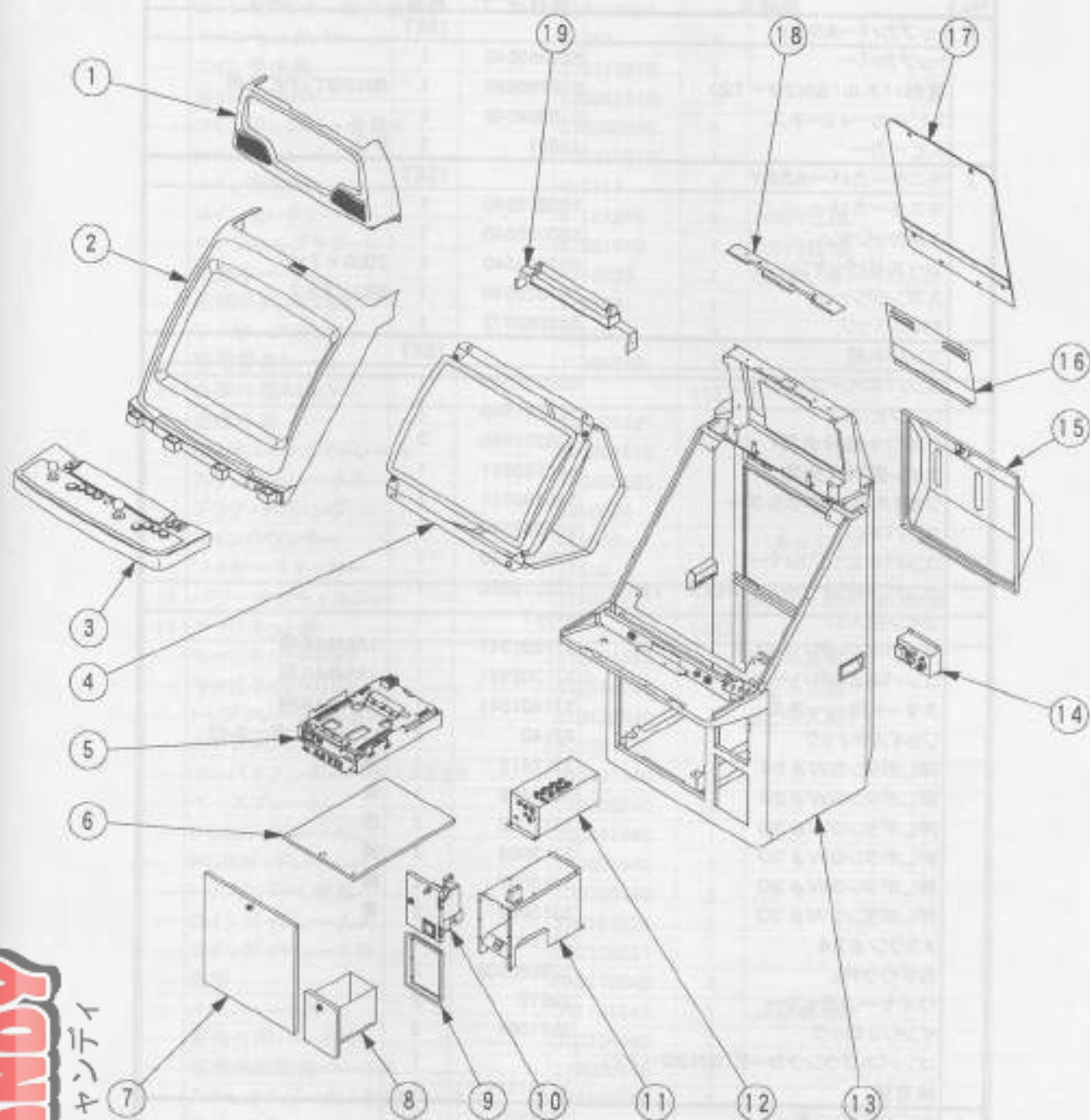
SUPER NEO 29 TYPE II

(1)使用電圧	AC100V±10V(50/60Hz)
(2)消費電力	175W
(3)寸法	全幅710mm×奥行き890mm×全高1927mm
(4)重量	99kg
(5)使用基板	HYPER NEO GEO 64基板
(6)搭載モニター	29インチCRTカラーモニター(帯電防止コーティング済)
(7)ヒューズ定格	・6A(耐ラッシュ型)(スイッチングレギュレーター) ・6A(メインハーネス・DC+5V)
(8)コインセクター	旭精工製 AD-81P2 100円仕様(工場出荷時)
(9)付属品	共通キー X3 金庫キー X2 取扱説明書 X1 調整用ドライバー X1 「警報器つき」シール X1 ビルボード3 X1

※都合により予告なく仕様内容を変更する場合があります。



各部構成図



各部構成パーツ

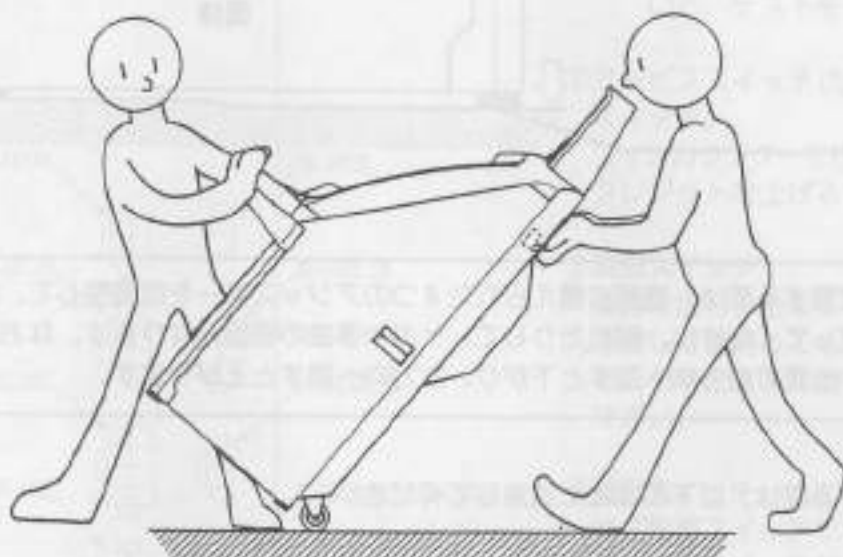
No.	部品名	品目コード	数量	備考
1	トップカバーASSY		1SET	
	トップカバー	580060540	1	
	電飾パネル(SN29-T2)	570760666	1	SN29TYPE II 用
	スピーカーハーネス	370304540	1	
	スピーカー	44801	2	8Ω
2	モニターカバーASSY		1SET	
	モニターカバー	580010540	1	
	エスカッション	580020540	1	
	シールドパッキン	507010540	1	2000×7×5
	スポンジシール	507020540	1	590×6×2
	SNKパッド	559080572	1	
3	コンパネ部		1SET	
	コンパネベースパネル	530232540	1	
	ロングヒンジ	520241540	1	
	カギウケ取付金具	520251540	2	
	コイン選別穴金具	540280521	1	
	ジョイスティックホルダー	530290521	2	
	コンパネ	580052540	1	
	コンパネエッジカバー	570081540	1	
	コンパネ化粧シール(SN29-T2)	570210666	1	
	コイン投入口	41417	1	
	コンパネ1P用ハーネス	371201541	1	JAMMA用
	コンパネ2P用ハーネス	371302541	1	JAMMA用
	スタート用ハーネス	371401541	1	JAMMA用
	ジョイスティック	42140	2	パッキン、ボール付
	押しボタンSWφ24	3312412	1	赤
	押しボタンSWφ24	3312416	1	青
	押しボタンSWφ30	3313002	2	赤
	押しボタンSWφ30	3313004	2	黄
	押しボタンSWφ30	3313005	2	緑
	押しボタンSWφ30	3313006	2	青
	メカクシφ24	39224	1	
	カギウケRL	525090508	2	
	ワイヤーステッカー	39610	3	
	インシュロック	3971001	3	
	コンパネブランクカード(SN29-T2)		1	
	検査証	71351521	1	
4	29" CRTモニター	3122903	1	
5	HYPER NEOGEO64基板ユニット		1	
6	PCB用板ASSY		1SET	
	PCB用板	590100521	1	
	ULクランプ(大)	39523	1	
7	フロントドア部		1SET	
	フロントドアASSY	510202540	1	
	共通キー	4315533	1	G5533、キーペロ付
8	金庫部		1SET	
	金庫ASSY	530090521	1	
	金庫キー	43233	1	バラ番号、キーペロ付
9	金庫外枠	510800521	1	

No.	部品名	品目コード	員数	備考
10	セレクトードアASSY		1SET	
	セレクトードア	510210540	1	
	コイン戻しレバー	520340540	1	
	コインセクター取付金具	520110521	1	
	キャンセルカバー	41567	1	
	コイン受金具	520111510	1	
	返却口ASSY	530261510	1	
	コイン戻しレバー金具A	520290510	1	
	コイン戻しレバー軸	520310510	1	
	コイン返却口	415111	1	
	コインセクター	41181210	1	100円仕様
	チャンネルブラケット	41281010	1	100円仕様
	共通キー	4315533	1	G5533、キーペロA付
	返却ボタンASSY	4181031	1	
	ワイヤーステッカー	39610	2	
	感電警告シール	71360540	1	
11	金庫外箱ASSY		1SET	
	金庫外箱	530201521	1	
	CB用コインガイドレール	510901510	1	
	カウンターハーネス	370400521	1	
	プラグハウジング	3810204	1	
	コインカウンター	451660	1	パネルタイプ
	ワイヤーステッカー	39610	3	
12	パワーサブライユニット	32181231	1	HYPER NEOGEO64用
13	キャビネット部		1SET	
	キャビネットASSY	510104540	1	1ピース用
	キャビネットASSY	510110540	1	2ピース用
	トップフレームASSY	510120540	1	2ピース用
	カギフック	520281540	2	
	コンパネアンダーベースASSY	510401540	1	
	ベースプレート	510605540	1	
	PCBガイドレールL	530641540	1	
	PCBガイドレールR	530651540	1	
	トップカバーL金具	530700540	2	
	コインガイドレールA	520163521	1	
	コインガイドレールB	520172521	1	
	取手	580170540	4	
	メインハーネス	371105541	1	JAMMA用
	蛍光灯用ハーネス1	370704540	1	
	電源供給配線ハーネス	374000666	1	
	ステレオスピーカー配線ハーネス	374100666	1	
	アジャスター	47140	4	
	キャスター	461751	2	
	共通キー	4315533	2	G5533、キーペロA付
	ULクランプ(小)	39513	11	
	ULクランプ(大)	39523	2	
	ワイヤーステッカー	39610	4	
	筐体サイドシールL(SN29-T2)		1	
	筐体サイドシールR(SN29-T2)		1	
	シリアルナンバープレート	71340572	1	
	高圧注意シール	71390540	1	
	定格ラベル		1	SN29TYPE II 用

No.	部品名	品目コード	員数	備考
14	リア電源ボックスASSY		1SET	
	リア電源ボックス	520152572	1	
	PS用ハーネス	370201540	1	
	電源中間ハーネス1	370600572	2	
	電源中間ハーネス2	370700572	2	
	電源SWハーネス1	371000572	1	
	電源SWハーネス2	371100572	1	
	アース用ハーネス	371200572	1	
	ACコード	373011510	1	
	絶縁被覆付閉端接続子	38805	2	
	ノイズフィルター	3512206	1	
	ACアウトレット	3540104	1	
	コードブッシュ	39111	1	
	電源SW	3220802	1	キートップ付
	メカクシφ30	39230	1	
	電源スイッチ用ON/OFF表示シール		1	
	アース表示シール		1	
	サービスコンセント用定格表示シール	71381540	1	
	アース端子(バインド頭小ネジ)	81460420	1	ステンレス製
	アース端子(六角ナット)	841614	2	ステンレス製
	アース端子(備付座金)	853624	1	ステンレス製
15	リアカバーASSY		1SET	
	リアカバー	510223540	1	
	共通キー	4315533	1	G5533、キーペロA付
16	蛍光灯バックカバー	510352540	1	
17	ビルボード3ASSY		1SET	
	ビルボードカバー3	570190666	1	
	ビルボード3	570200666	1	
	スクリベット	4952104	2	
18	トップカバー固定金具	510663541	1	
19	蛍光灯ASSY		1SET	
	蛍光灯取付金具	530621540	1	
	蛍光灯用ハーネス2	370802540	1	
	絶縁被覆付閉端接続子	38802	2	
	蛍光灯器具	34110	1	
	蛍光灯	3421001	1	
	グロー球	30210	1	
20	その他		1SET	
	警報器つきシール	71381572	1	
	取扱説明書		1	SN29TYPE II 用

○移動について

キャスターを転がしながら移動する場合は、図のように筐体を約40°程度に傾け、背面に設けた取っ手に手を入れ、ゆっくり移動してください。また、その間、他の人は周囲の安全の確認と誘導、及び補助を行ってください。



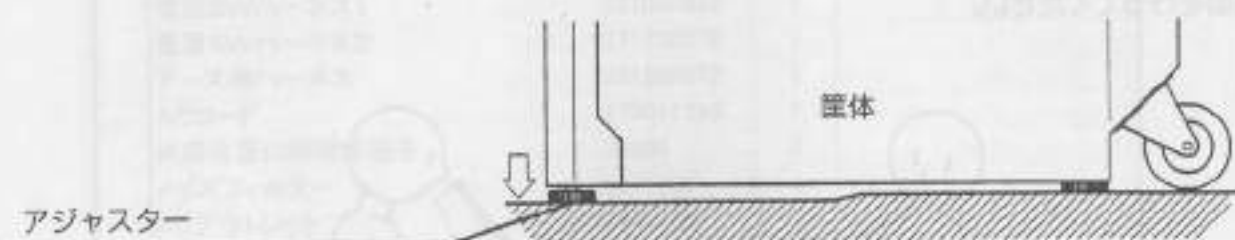
また、本機を移動させる際には、以下のことに注意してください。

- 筐体の移動は、電源プラグをコンセントから外して、電源コードをリア電源ボックス内に収納した後で行ってください。故障や感電の原因となるだけでなく、コードにつまずいてケガをする原因にもなります。
- 本機の移動・運搬は、必ず複数の人員で慎重に行ってください。事故やケガを防ぐために必要です。
- 階段や傾斜面を運搬する場合、本機を無理なく持ち上げることのできる人数で行ってください。
- 配線を傷つけないようにしてください。火災や感電などの事故の原因となります。

アジャスターを上げて移動してください。事故やケガを防ぐために必要です。

○設置方法

図のようにアジャスターを確実に接地してください。



本機を設置する際は、底部に備えられた4つのアジャスターを微調整して、必ず本体を水平に固定してください。倒れたりして、ケガや事故の原因となります。なお、アジャスターは上から見て右方向へ回すと下がり、左方向へ回すと上がります。

なお、本機を設置する際は、以下のことに注意してください。



- アース線は必ず取り付けてください。アース線を取り付けないと、漏電の時、感電事故の原因となります。
- 本機は屋内専用です。屋外やその他の危険な場所(→P2参照)には絶対に設置しないでください。

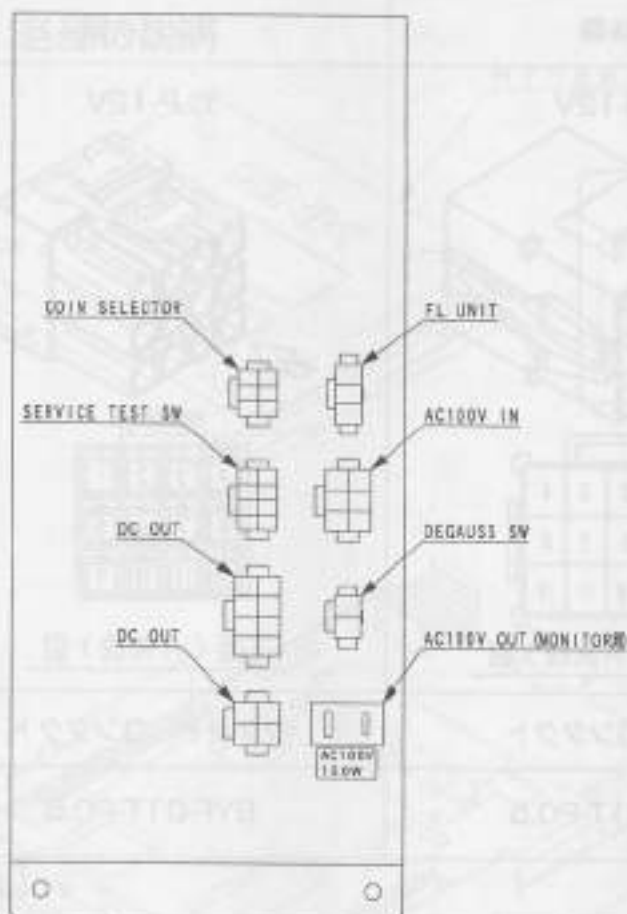
(設置上のおねがい)

本機を非常口の近くや消火器などの防災設備の周辺に設置することは絶対におやめください。災害や事故の際に、避難や消火活動などの妨げとなります。

○スイッチング電源ユニットの説明

スイッチング電源ユニットに配置された各種スイッチ及びコネクタの機能は次の通りです。

上から見た図



①テストスイッチ

テストモードに入ることができます。

注) ソフトカセットを装着した状態でないと、テストモードには入れません。

②サービススイッチ(サービスクレジットスイッチ)

コインカウンターを作動させることなく、クレジットを上げることができます。

③消磁スイッチ

画面の色むらを取ることができます。

連続して使用しても効果はありませんので、20分位の間隔をおいて使用してください。

④電源スイッチ

サブ電源スイッチです。筐体後部にはメイン電源スイッチがあります。

⑤ヒューズホルダー

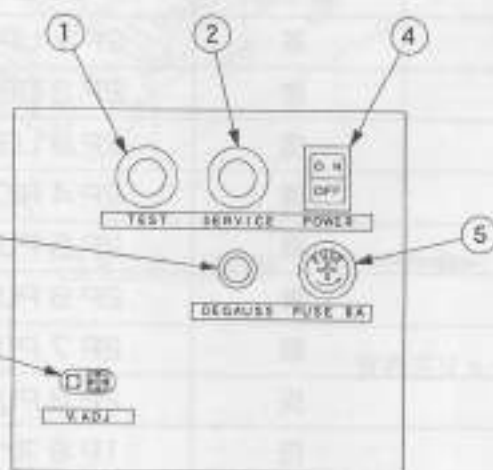
ヒューズ(6 A耐ラッシュ型)が入ります。本機は電源投入時、瞬間的な大電流が流れますので、市販の一般的なヒューズは使用できません。必ず「耐ラッシュ型」をお使いください。

注) ヒューズはメインハーネスのDC 5 Vライン上にもあります。(→P 6・P 36 参照)

⑥V.ADJ

直流電源(DC 5 V)の調整用ボリュームです。必要時以外は絶対に動かさないでください。

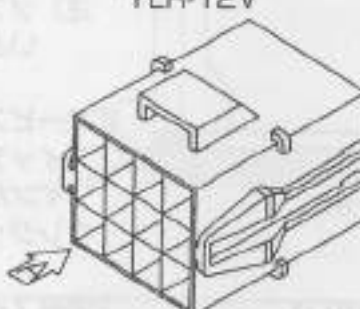
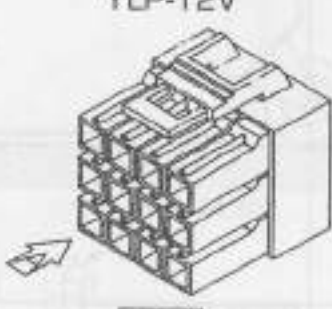
正面から見た図



警告

ユニットのコネクターを抜き差ししたり、ヒューズを交換したりする場合は、必ず本機の電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源の入った状態での作業は、感電などの事故やケガの原因となります。

○コントロールパネルの配線

	本体側	コンパネ側
ハウジング	YLR-12V  正面 (A矢視) 図	YLP-12V  正面 (A矢視) 図
コンタクト	ピン・コンタクト	ソケット・コンタクト
AWG#22~18 (0.3~0.75mm ²)	SYM-01T-P0.5	SYF-01T-P0.5

(JST製)

No.	線材色	1プレイヤー	線材色	2プレイヤー
1	茶	1P 1 UP	茶	2P 1 UP
2	赤	1P 2 DOWN	赤	2P 2 DOWN
3	橙	1P 3 LEFT	橙	2P 3 LEFT
4	黄	1P 4 RIGHT	黄	2P 4 RIGHT
5	緑	1P 5 PUSH1	緑	2P 5 PUSH1
6	青	1P 6 PUSH2	青	2P 6 PUSH2
7	紫	1P 7 PUSH3	紫	2P 7 PUSH3
8	灰	1P 8 PUSH4	灰	2P 8 PUSH4
9	白	1P スタート	白	1P 9 スペア
10	桃	2P スタート	白	2P 9 スペア
11	黒	GND(27)	黒	GND(e)
12	緑	アース		

コネクタハウジングの色は1プレイヤー側が白、2プレイヤーが赤です。

○ハイパーネオジオ64基板ユニットの説明

1.各部の説明



ソフトカセットの脱着やコネクター接続部及びユニットの交換の際は、必ず本機の電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源の入った状態での作業は、感電などの事故やケガの原因となります。

2.エッジコネクターの配列

半田面	端子番号		部品面
GND	A	1	GND
GND	B	2	GND
+S (リモートセンシング端子)	C	3	+S (リモートセンシング端子)
+S (リモートセンシング端子)	D	4	+S (リモートセンシング端子)
-5V	E	5	-5V
+12V	F	6	+12V
(誤挿入防止キー)	H	7	(誤挿入防止キー)
(コインカウンター 2)	J	8	コインカウンター 1
(コインロックアウト2)	K	9	(コインロックアウト1)
(スピーカー (-))	L	10	(スピーカー (+))
(オーディオ (GND))	M	11	(オーディオ (+))
ビデオ GREEN	N	12	ビデオ RED
ビデオ SYNC	P	13	ビデオ BLUE
サービススイッチ	R	14	ビデオGND
(チルトスイッチ)	S	15	テストスイッチ
(コインスイッチ 2)	T	16	コインスイッチ 1
スタートスイッチ 2	U	17	スタートスイッチ 1
2Pコントロール1 UP	V	18	1Pコントロール1 UP
2Pコントロール2 DOWN	W	19	1Pコントロール2 DOWN
2Pコントロール3 LEFT	X	20	1Pコントロール3 LEFT
2Pコントロール4 RIGHT	Y	21	1Pコントロール4 RIGHT
2Pコントロール5 PUSH1	Z	22	1Pコントロール5 PUSH1
2Pコントロール6 PUSH2	a	23	1Pコントロール6 PUSH2
2Pコントロール7 PUSH3	b	24	1Pコントロール7 PUSH3
2Pコントロール8 PUSH4	c	25	1Pコントロール8 PUSH4
2Pコントロール9 スペア	d	26	1Pコントロール9 スペア
※GND	e	27	※GND
※GND	f	28	※GND

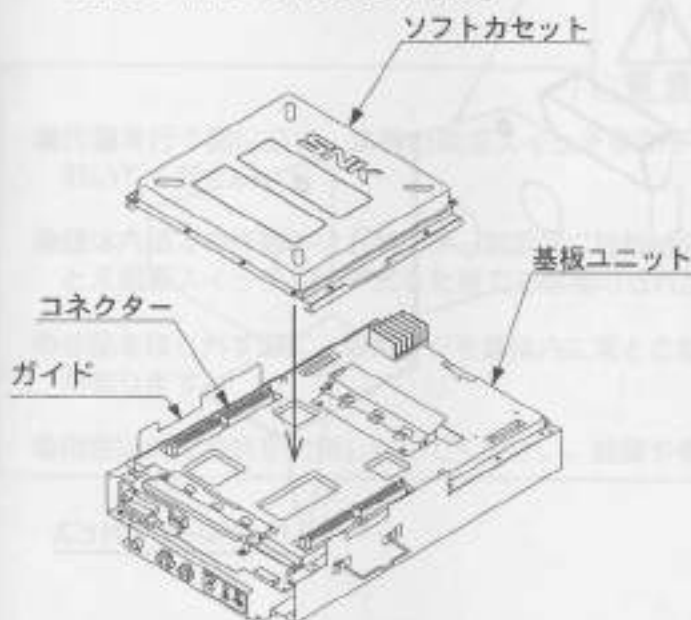
※27, e, 28, fのGNDは単独で配線されています。

3.ソフトカセットの脱着方法

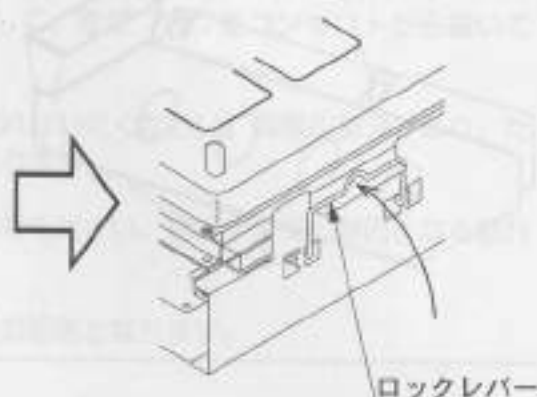
3-1.ソフトカセットを装着する時

まず、A図のようにソフトカセットを向きに注意しながら、基板ユニットのガイドに沿って確実に押し込み、コネクタに装着します。装着後は、B図のように必ず基板ユニットのサイドにあるロックレバーをソフトカセットに掛けてください。

A図(ソフトカセットの向きに注意)



B図



注意

- 必ずソフトカセットにロックレバーが掛かるようにしてください。ロックレバーが掛からない場合は、装着が不十分ですので、ソフトカセットを奥まで確実に押し込んでください。
- ソフトカセット使用时及び搬送の際は、ソフトカセット裏面のコネクタ部にゴミや金属等の異物が入らない様に注意してください。

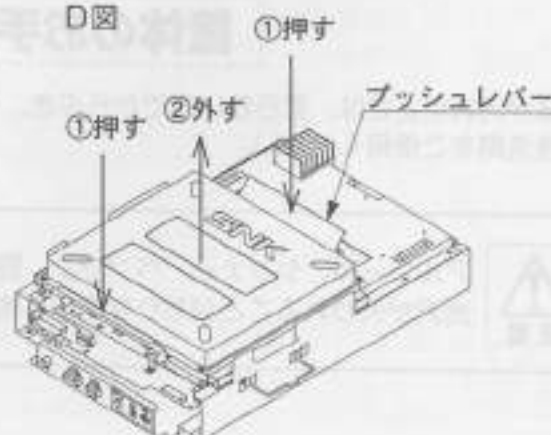
3-2.ソフトカセットを取り外す時

C図のようにロックレバーを90°倒してロックを解除します。次にD図のようにソフトカセットの前後のプッシュレバーを同時に押して、ソフトカセットを取り外してください。

C図

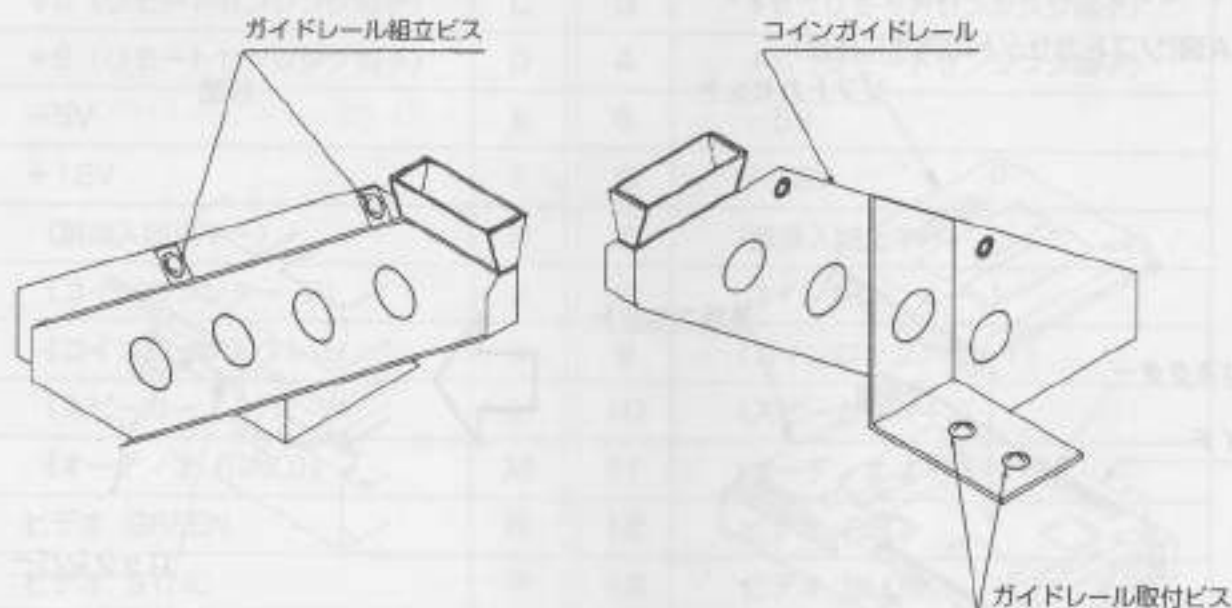


D図



○メンテナンスについて

■コイン詰まりの除去



コントロールパネルを開けると右手に上図のようなコインガイドレールがあります。コインが詰まったときには、両サイドの穴からコインをつつくか、ガイドレール組立ビスをゆるめるかしてコインを除去してください。

以上の方法でも除去できない場合は、コインガイドレールを外してください。
(取付ビスは上図に示されています。)



コインが詰まっているときは、無理にセレクトドアを開けないでください。
ドア内部の部品が破損する恐れがあります。

筐体のお手入れについて

筐体が汚れたときは、柔らかい布でからぶき、もしくは水ぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をご使用ください。



アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性の液体が付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

○部品の交換方法

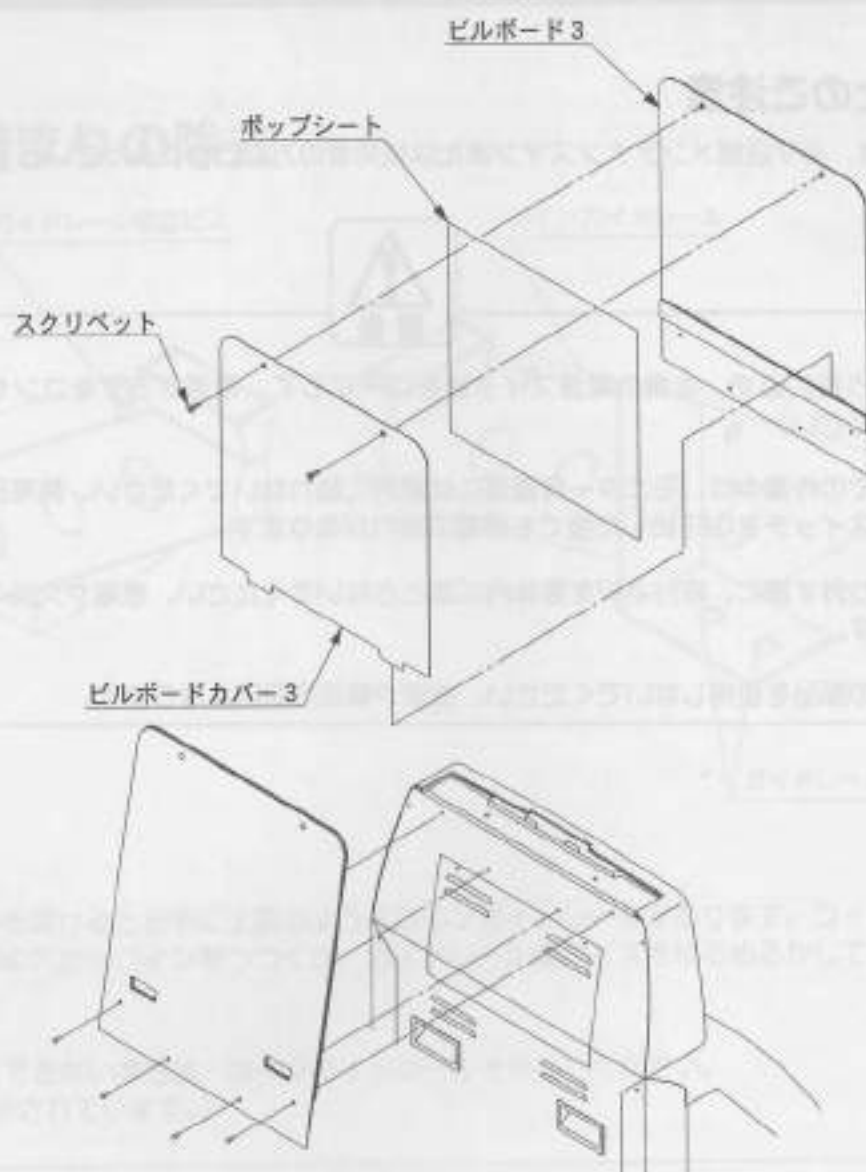
■作業上のご注意

部品の交換は、必ず店舗メンテナンスマンまたは技術者の方が行ってください。



- 作業を行う前に必ず、本機の電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 筐体内部での作業中は、モニター背面部には絶対に触れないでください。高電圧部分があり、たとえ電源スイッチをOFFにした後でも感電の恐れがあります。
- 部品を取り外す際に、取付ネジを筐体内に落とさないでください。感電や火災の原因となる恐れがあります。
- 指定以外の部品を使用しないでください。故障や事故の原因となります。

○ビルボードの取り付け



ビルボードは工場出荷時には取り付けられておりませんので、下記の要領で取り付けて下さい。

ビルボードを筐体トップ部にM4×10ビス4本で取り付けます。

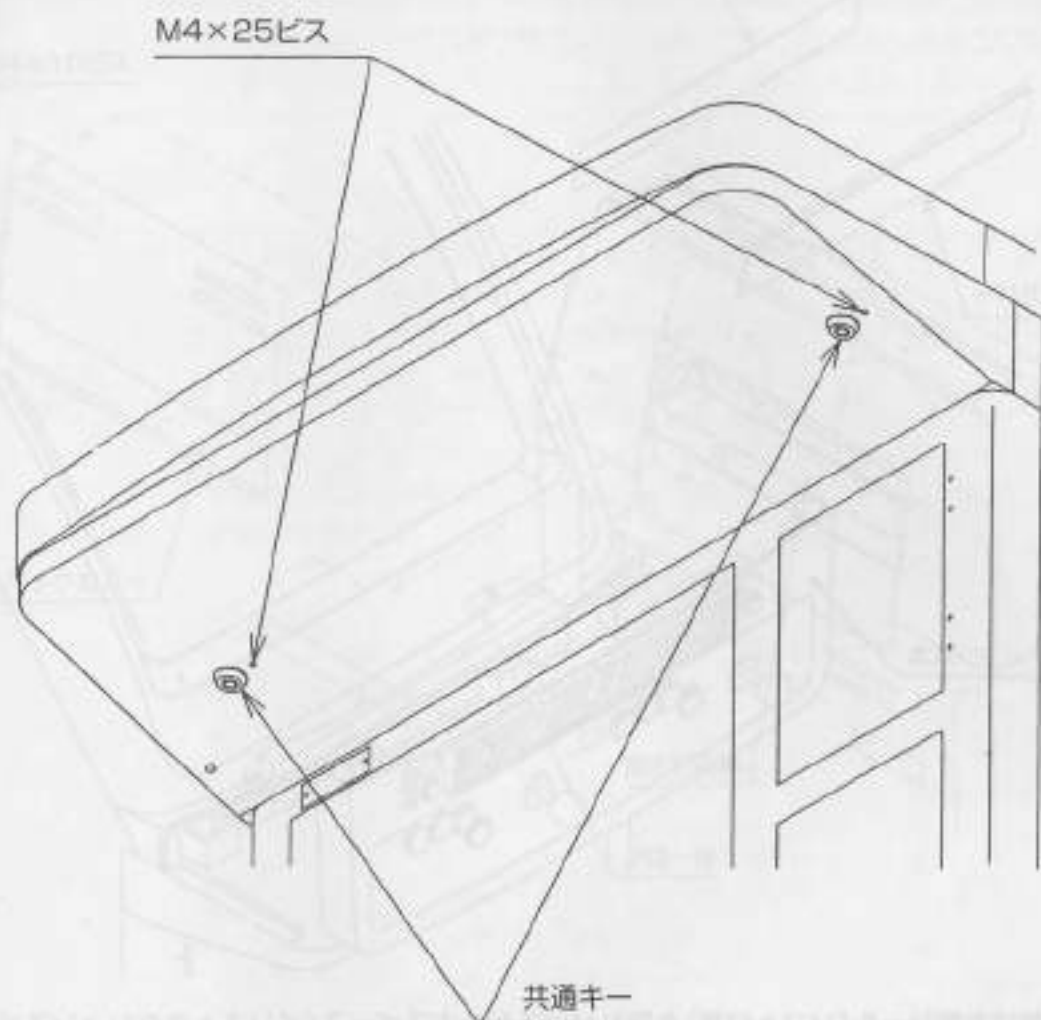
ビルボードカバーをビルボードに差し込む際に、搭載するソフトに付属するポップシートを挟み、スクリベットを穴にはめ込み、プラスドライバーで右向きにネジを回すと固定されます。

ポップシートを交換するときは、スクリベットをプラスドライバーで、ネジ頭部が長さ5mm程度露出するまで左向きに回し続けた後、ビルボードカバーを前方へ倒して下さい。



運搬時はM4×10ビスを4本外してビルボードを取り外して下さい。

○コントロールパネルの開閉



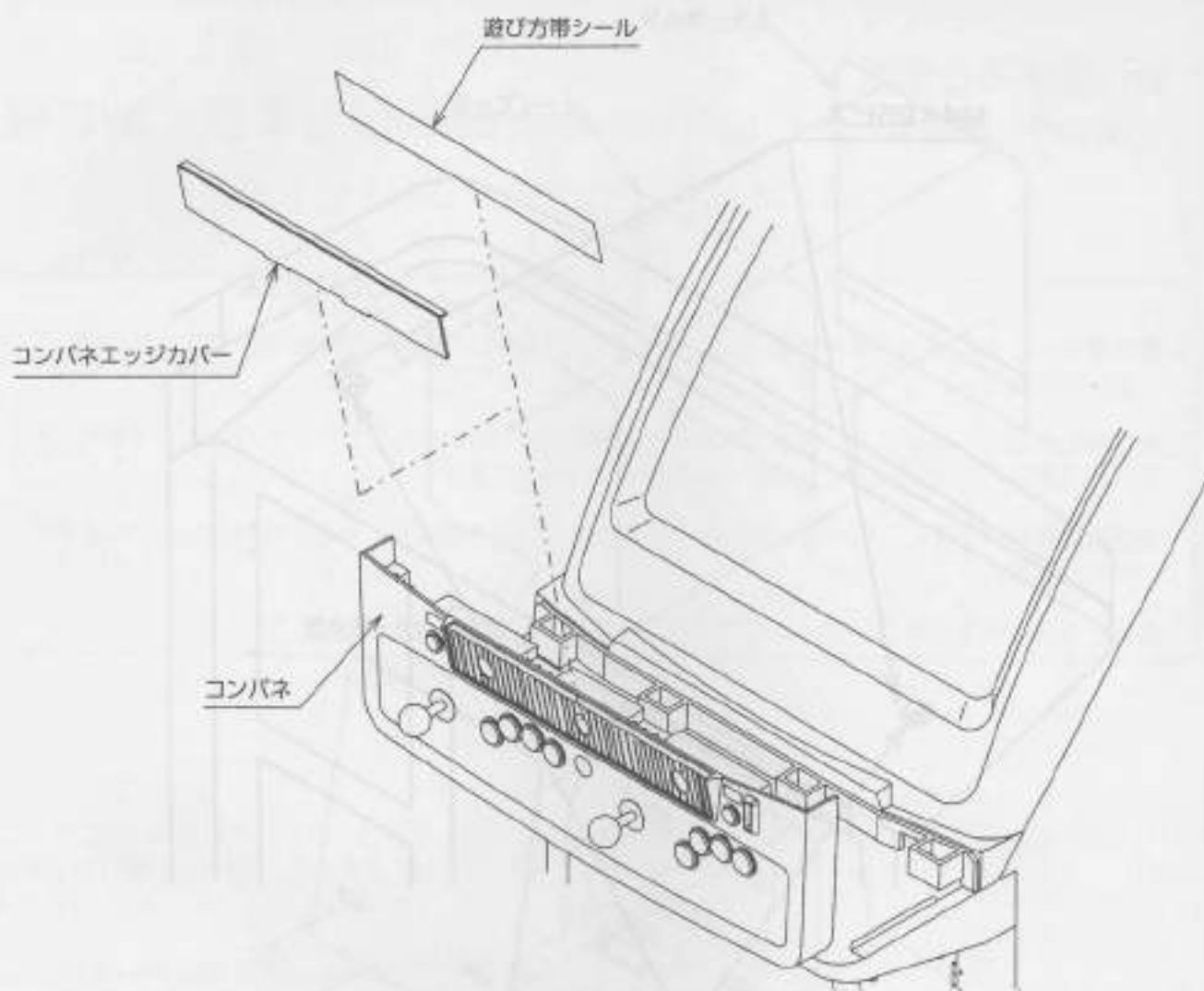
コントロールパネル下部に2ヶ所鍵穴があります。

それぞれに共通キーを差し込み、筐体下側から見て時計方向に回すとコントロールパネルを開けることができます。

鍵は工場出荷時にネジ止め（上図の位置2ヶ所）してありますので、ネジをゆるめてから鍵を開けてください。



○遊び方帯シールの交換



上図斜線部に遊び方帯シール(ソフト付属)を取り付けるためのスペース(インストラクションスペース)を設けています。

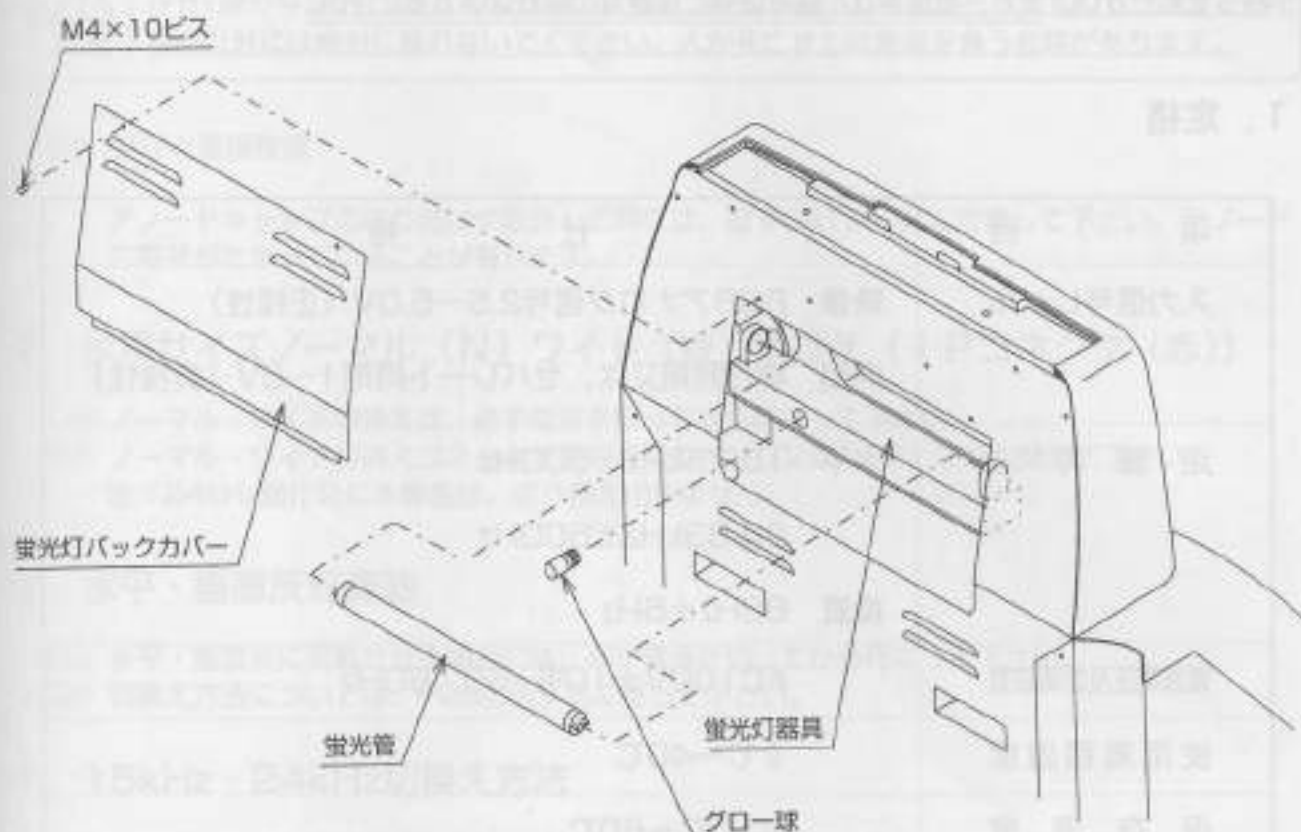
- ①共通キーを用いてコンパネを開けてください。
- ②コンパネエッジカバーを外してください。
- ③遊び方帯シールを間にはさみながらコンパネエッジカバーをコンパネに差し込んでください。
(ただし、シールのはく離シートは、つけたままにしておいてください。)



注意

- コンパネを閉じる前に、中に工具や部品、特に金属の類が残っていないかを確認してください。中に物が残っていると故障や事故の原因となる恐れがあります。
- コンパネを閉じる際は、必ずコンパネエッジカバーが奥まで十分差し込まれたことを確認した後、ゆっくりと倒すように動かしてください。
十分に差し込まれていないと、コンパネエッジカバーやコンパネを破損してしまう恐れがあります。

○ 蛍光灯の交換



① 本体トップ部背面の、ビスを外して蛍光灯バックカバーを開けます。

② 蛍光管は前後にねじると蛍光灯器具から外れます。

③ グロー球は左方向に回すと蛍光灯器具から外れます。

● 蛍光管とグロー球は必ず10Wものを使用してください。

● 交換の際、蛍光管には電源がOFFであっても不用意に触れないでください。電源がOFFになった直後であれば蛍光管が高温になっていることがあり、火傷を起こす危険性があります。必ず、温度が十分に下がっていることを確認してから交換作業を行ってください。

注意

○モニター仕様と調整方法

本機に搭載しているモニターは、工場出荷時に最適な状態に調整されています。やむをえず調整する必要がある場合には、日常的にAM機器の保守、管理に携わり、経験および知識を有する技術者の方が行ってください。また、指定された箇所以外には絶対に触れないでください。

1. 定格

項 目	仕 様
入力信号レベル	映像 RGBアナログ信号2.5～5.0V（正極性） 同期 複合同期又は、セパレート同期1～5V（負極性）
走 査 方 法	水平 15.75kHz±500Hz 24.83kHz±500Hz 垂直 60Hz±5Hz
電源電圧及び周波数	AC100V±10% 50/60Hz
使用周囲温度	0℃～40℃
保 存 温 度	-10℃～60℃
湿 度	70%以下（保存時90%以下）
映 像 帯 域	10MHz（±3dB）
偏 向 歪 み	台形歪み・樽形・糸巻歪み 3%以内
受 像 管	29形110° 偏向カラーブラウン管 （防爆形、帯電防止コーティング済）
消 費 電 力	110W±20%
重 量	38.5kg

2. 使用上のご注意

(1) 高電圧部



本機内部には、高電圧25000ボルト以上の高い電圧を使用している箇所があります。
(FBT部分等)メイン電源を切った状態でも、帯電している場合がありますので、指定した
場所以外には絶対に触れないでください。人が死亡または重傷を負う危険があります。

(2) CRTと基板接続

アノードキャップの取り付けや取外しの時には、必ずCRTアースに放電して下さい。アノード
に電荷がたまっていることがあります。

3. 水平サイズノーマル (N) ワイド (W) 切換え (1Pコネクタ (赤))

- (1) ノーマル・ワイド切換えは、必ず電源を切ってから行なって下さい。
 - (2) ノーマル・ワイド切換えコネクタを基板捺印の (N) 又は、(W) に差し替えて下さい。
- 注：24kHz動作時に本機能は、切り換え出来ません。

4. 水平・垂直反転機能

- (1) 水平・垂直共に反転させる場合には、必ず電源を切ってから行なって下さい。
- (2) 切換え方法については、P26に示す図に従って下さい。

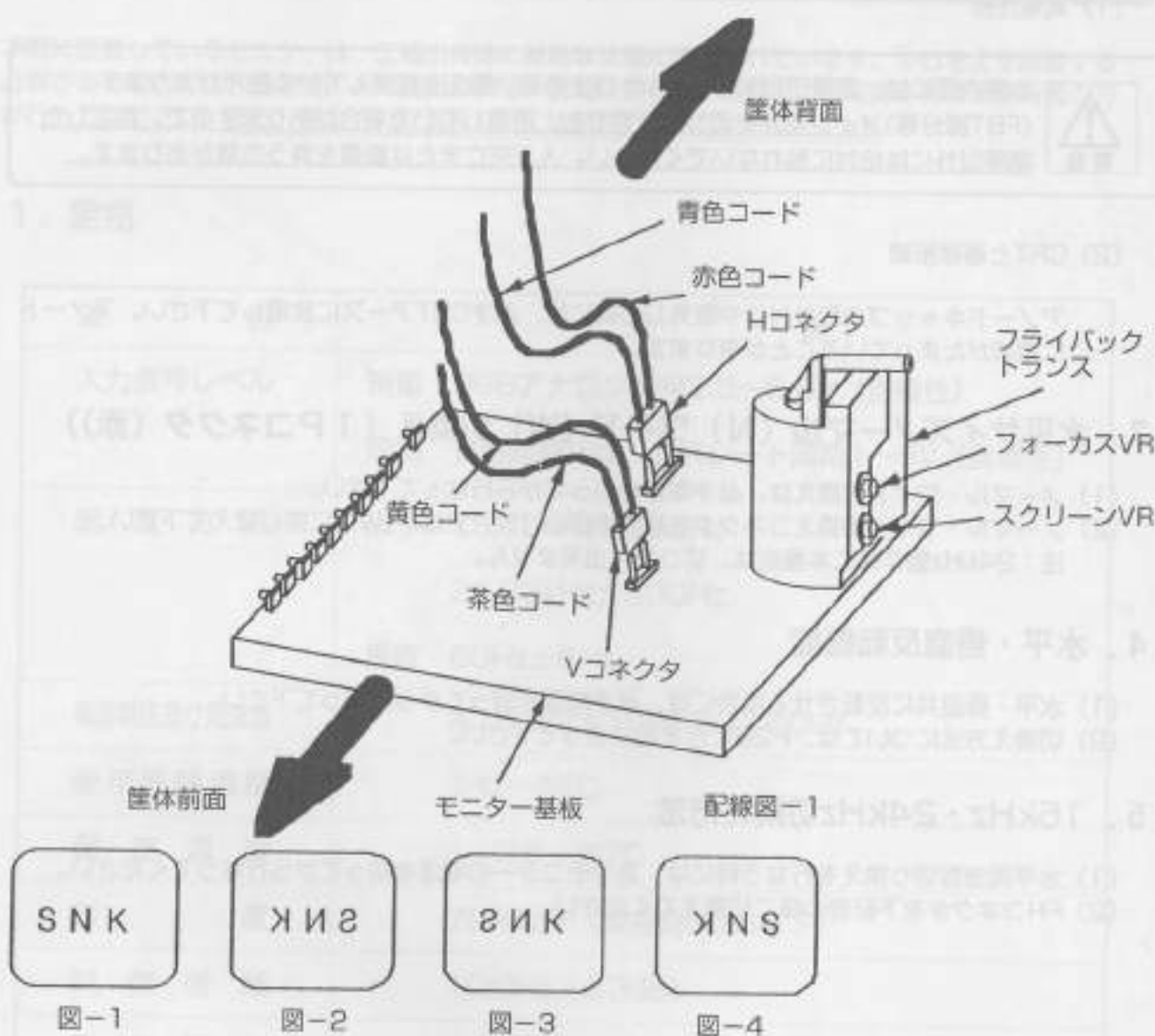
5. 15kHz・24kHz切換え方法

- (1) 水平周波数切り換えを行なう時には、必ずモニターの電源を切ってから行なってください。
- (2) FHコネクタを下記表の様に切換えてください。

水 平 周 波 数	コ ネ ク タ
15kHzの場合	FH15K 側に挿入のこと
24kHzの場合	FH24K 側に挿入のこと

コネクタの位置はP29を参照して下さい。

水平・垂直反転方法



配線図-1に示すのは、水平、垂直どちらも正常な状態（図-1に示す画像）

Hコネクタだけを裏表逆に挿入すると左右鏡反転（図-2に示す画像）

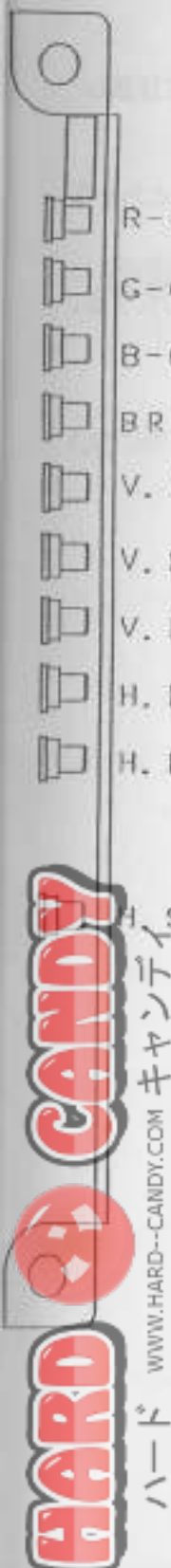
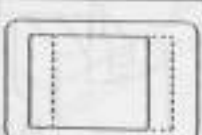
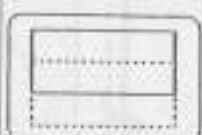
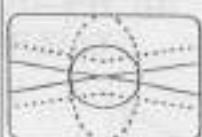
Vコネクタだけを裏表逆に挿入すると上下鏡反転（図-3に示す画像）

H・Vコネクタを裏表逆に挿入すると画像が180°逆転（図-4に示す画像）

6. 調整機能の説明

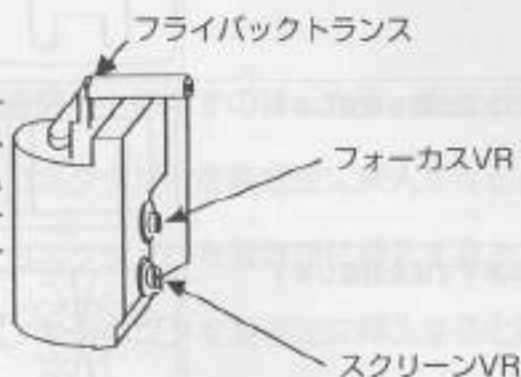
(1) 各部調整機能一覧

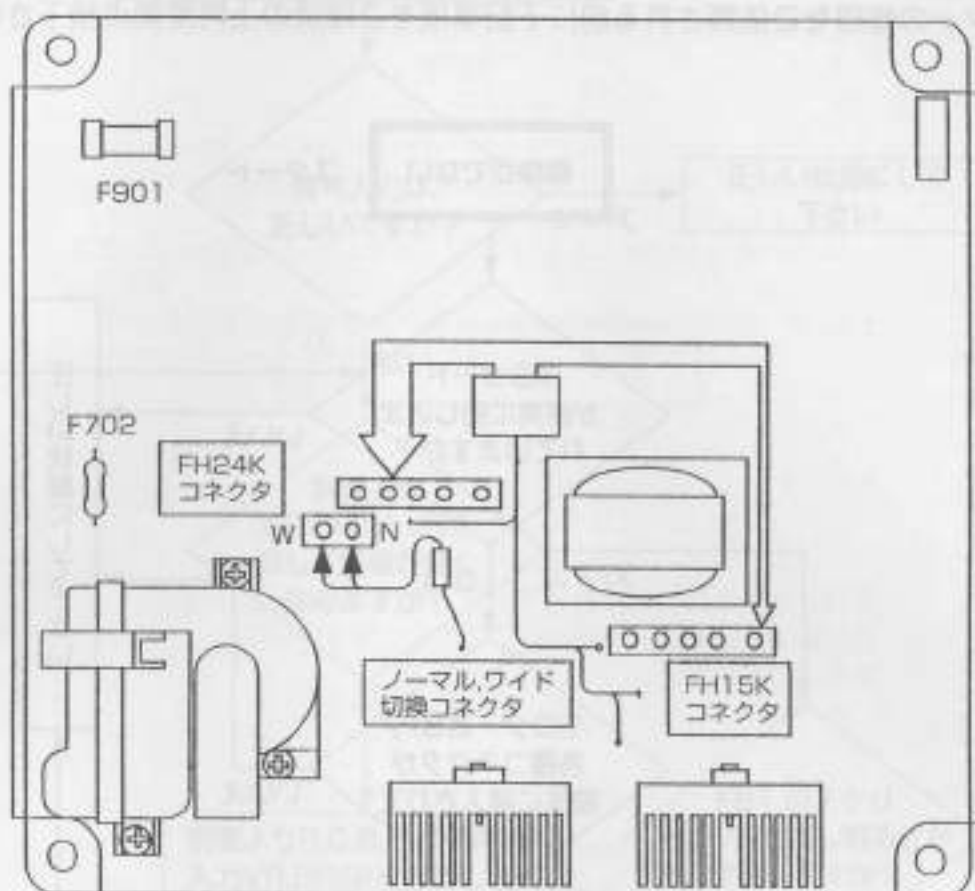
項#	名 称		動 作
1	R-GAIN	赤信号振幅	赤色信号の振幅を調整します
2	G-GAIN	緑信号振幅	緑色信号の振幅を調整します
3	B-GAIN	青信号振幅	青色信号の振幅を調整します
4	BRIGHT	輝度	画像全体の明るさを調整します
5	V.HOLD	垂直同期	画像が上下に流れる時に調整します
6	V.SIZE	垂直サイズ	画像の上下寸法を調整します
7	V.POSI	垂直位置	画像の上下位置を調整します
8	H.HOLD	水平同期	画像が左右に流れる時に調整します
9	H.POSI	水平位置	画像の左右位置を調整します
10	H.SIZE	水平サイズ	画像の水平寸法を調整します



7. ブラウン管カットオフ調整（ホワイトバランス調整）方法

- (1) 信号（CRT TESTのカラーバー）を入力する
- (2) CRT基板についている
 - ①R-BKG、G-BKG、B-BKG、VRを左いっぱいにする。
 - ②R-DRIV、B-DRIV VRを機械的中心にする。
- (3) FBT（フライバックトランス）についているスクリーンVRを左いっぱいにする。
- (4) CRT基板についている黄色の2Pコネクタを抜き、モニター基板垂直放熱器隣についている2Pコネクタに挿入して画像を横一本にする。
- (5) スクリーンVRを徐々に時計回転方向に回して、画像右端もしくは、左端横一部分に注目し、最初に出てきた色のところでスクリーンVRを止める。
- (6) CRT基板内R-BKG、G-BKG、B-BKGで出ていない色のVRを時計方向に回して3色ともそろった色をわずかに出す。
- (7) スクリーンVRを反時計方向に回して画面右端もしくは、左端の横一部分が薄く光るようにする。
- (8) モニター基板に挿入した黄色の2PコネクタをCRT基板に戻し、最初の状態にする。
- (9) カラーバー信号の白部分に着目し白の色合いが、大幅にずれている場合は、CRT基板内についているR-DRIV、B-DRIV VRを回し微調整して下さい。

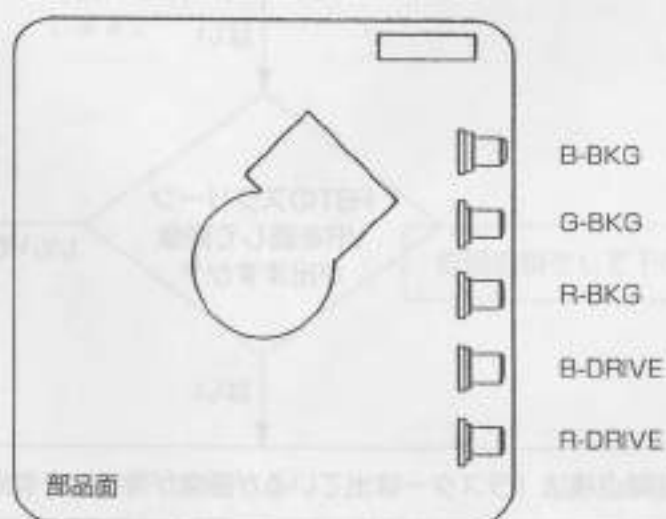




画像調整基板 ⇨



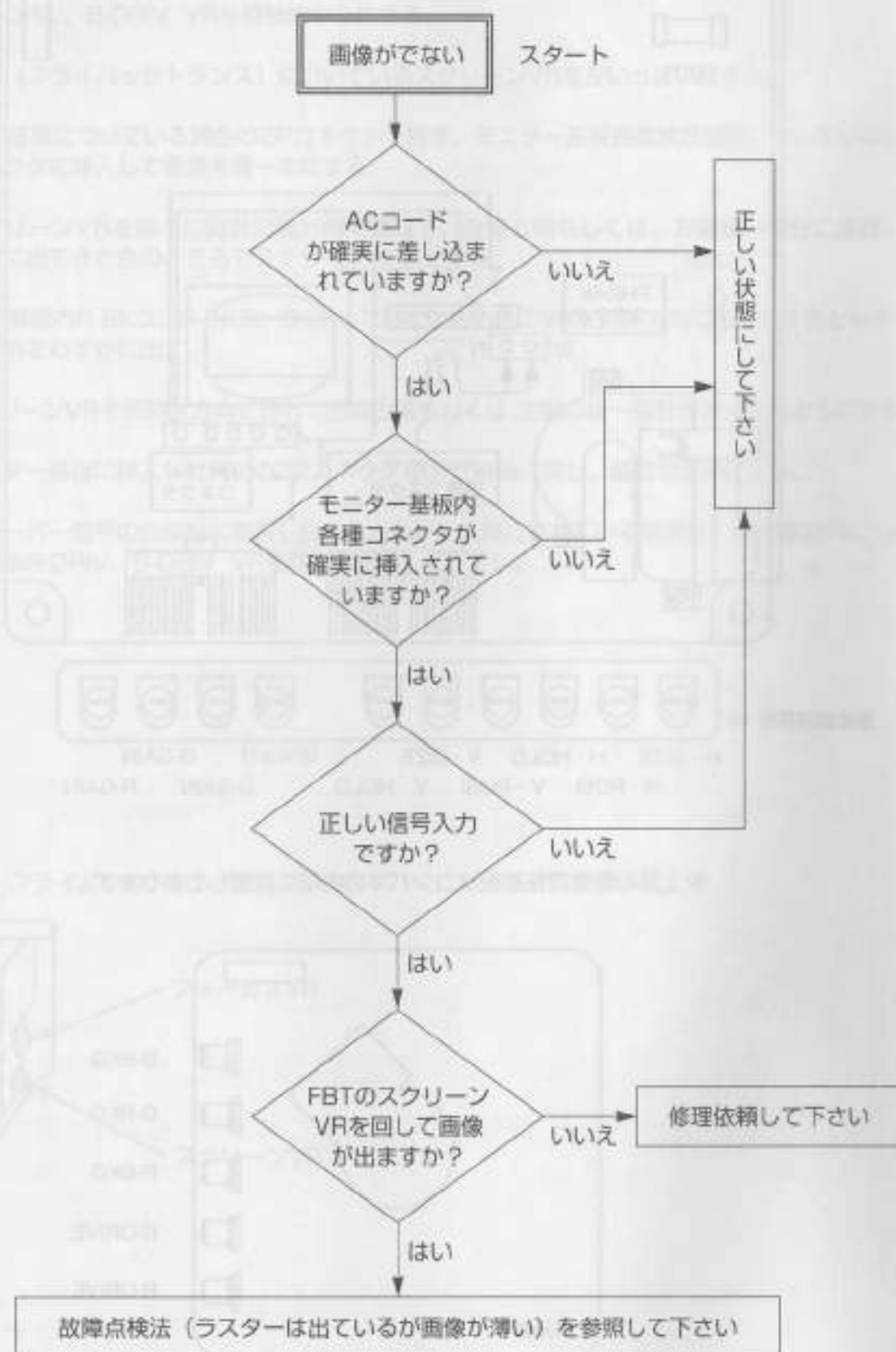
※上図の画像調整基板はコンパネの内部に設置してあります。

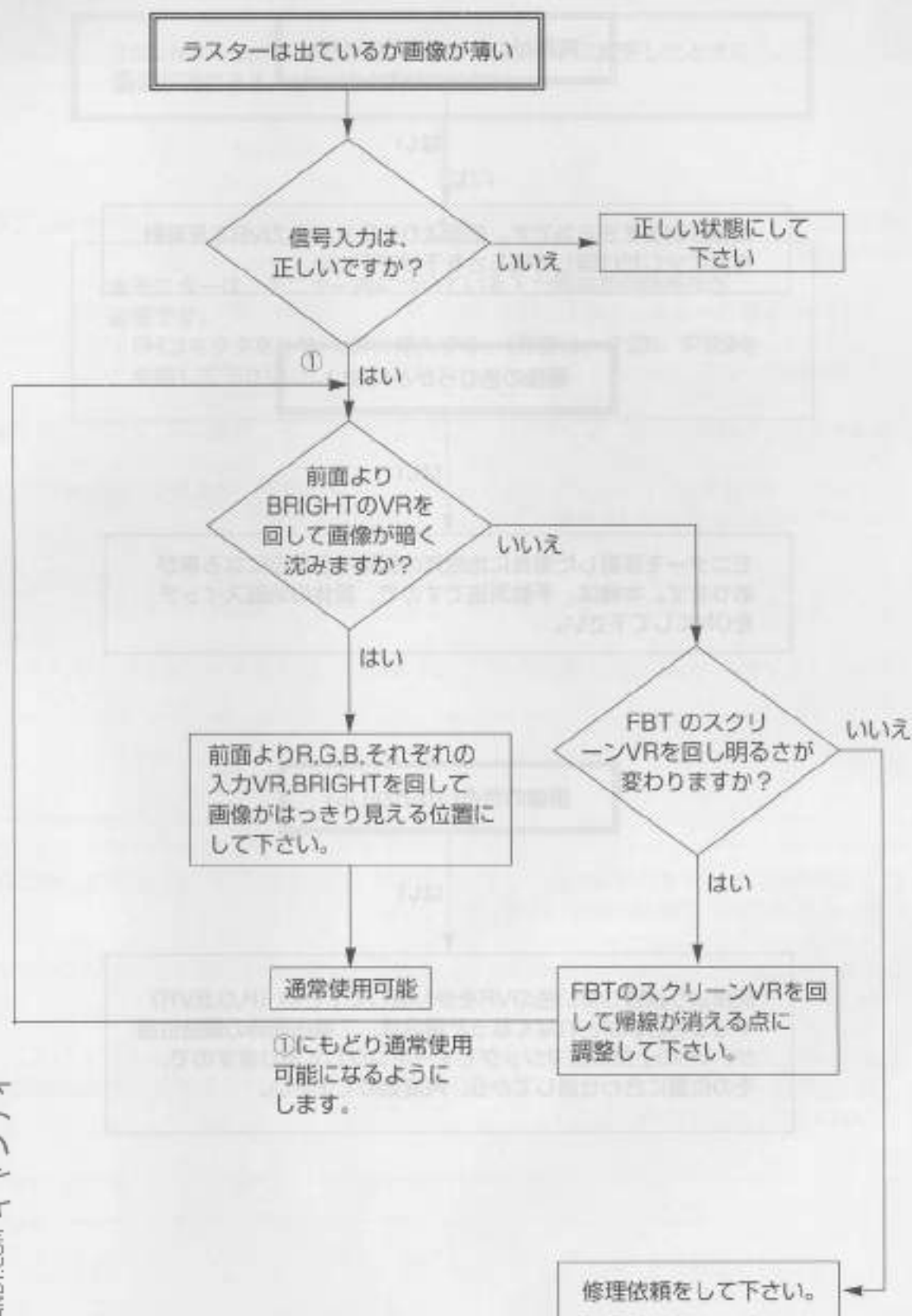


8. モニターの修理をご依頼される前に

モニターの修理をご依頼される前に下記事項をご確認の上再度御点検下さい。

1.





3. モニターの色むらが出るときの調整方法

時間がたつと色むらが出る

はい

画像が明るすぎる為です。前面よりR,G,Bの入力VRを反時計方向に少しだけ回して明るさを下げて下さい。

4.

画像の色むらがとれない

はい

モニターを移動した場合に地磁気の影響で色むらになる事があります。本機は、手動消磁ですので、筐体の消磁スイッチをONにして下さい。

5.

画像の色合いがおかしい

はい

前面より調整したい色のVRを少し回して下さい (R,G,BVR)
*もし色合いがとれなくなった場合は、工場出荷時の調整位置が、VRの上部に黒マジックでマーキングしてありますので、その位置に合わせ直してから、再度始めて下さい。

15kHzゲームボードから24kHzゲームボードに変更したときに
画像が流れるまたは、サイズが合わない

はい

本モニターは、モニター内についている入力周波数切換操作が
必要です。

- ・FHコネクタを24kHz側に挿入する。(詳細は、P25、P29を
参照して下さい。)

○故障とお考えになる前に

- (1) 本機はAC90V～110Vの範囲で使用できますが、下記のような場合、この範囲を越えて電源電圧が変動し、故障や誤動作の原因となります。

・同一の電源ライン上に大容量の機器（エアコン、大型筐体、等）を接続した時。

・背面のサービス（修理用）コンセントに多数の筐体を接続した時。

- (2) 電源を入れても機械が作動しないときは、もう一度コンセント、電源SW、ヒューズをお確かめ下さい。

（本機は「背面下部」と「スイッチング電源ユニット前面部」の2カ所に電源SWがあります。双方がONの状態でないとう機は作動しませんのでご注意ください。）

- (3) メインPCB及びコネクター上に、ホコリがかかっていたり、異物があると、故障や誤動作の原因となりますので、PCB及びコネクター上はいつもきれいにしておいて下さい。

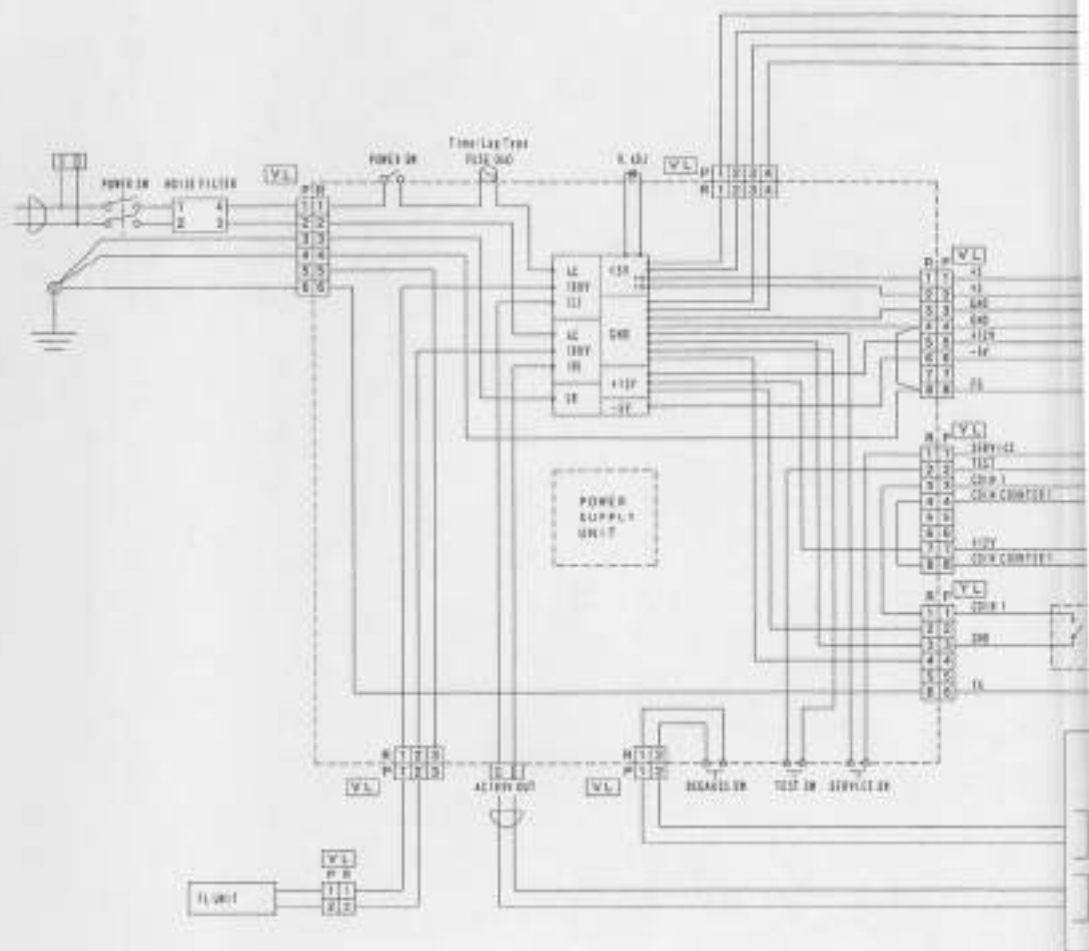
- (4) ジョイスティック及び、ボタン類が操作できない場合は、コネクターにゆるみはないか、ご確認下さい。

◎上記の項目に当てはまらない場合、あるいは対策による改善が見られない場合は、購入先もしくは裏表紙に記載の連絡先へ連絡して下さい。

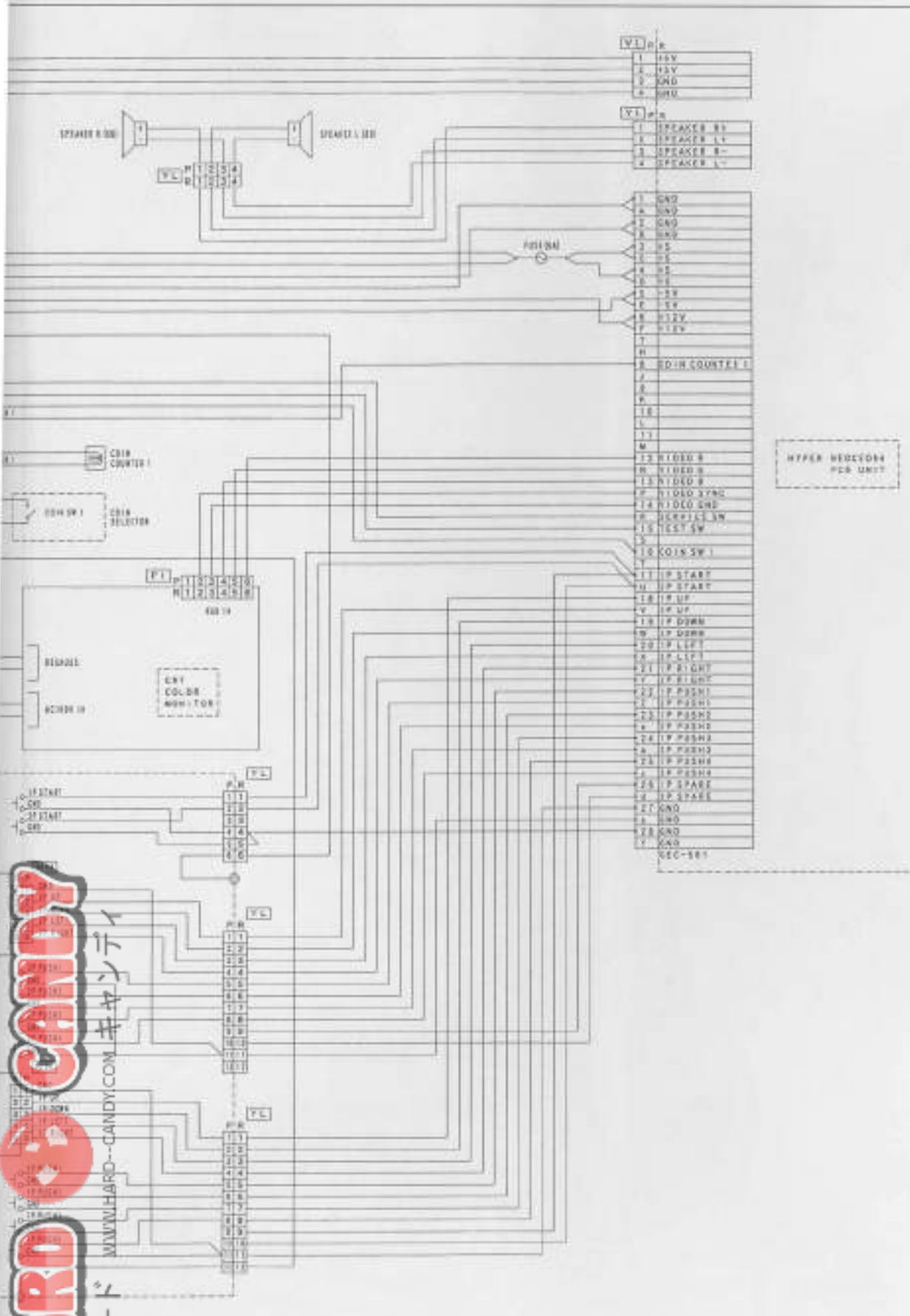
◎各種基板の修理は、当社にて行いますので、テスターによる導通検査は行わないで下さい。テスターの内部電圧でICが破壊されることがあります。

◎修理品を送付される場合は、故障内容を具体的に明示し、確実な梱包でお送り下さい。特に、基板やモニターはクッション材を使用し、段ボール箱などに入れ、外力が直接加わらないよう、梱包をお願いします。

○ワイヤリングダイアグラム



SUPER NEO29 TYPE II WIRING DIAGRAM



HYPER NEOGEO4
PCB UNIT



■本製品に関するお問い合わせは下記まで。

■本製品を破損、紛失された場合、下記の連絡先までご連絡下さい。

お問い合わせ/ご相談について

故障の際の修理のご相談や筐体に関するお問い合わせ等は、下記の弊社技術サービスセンターまでご連絡下さい。

技術サービスセンター

〒564 大阪府吹田市江坂町2-21-12 TEL.06(338)6994

[受付時間]AM10:00~PM5:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除く)

株式会社 エス・エヌ・ケイ

本社	〒564	大阪府吹田市豊津町18-12
大阪販売部	〒564	大阪府吹田市豊津町18-12
大阪特機事業部	〒564	大阪府吹田市豊津町18-12
東京販売部	〒102	東京都千代田区紀尾井町3-8(第2紀尾井町ビル)
東京特機事業部	〒102	東京都千代田区紀尾井町3-8(第2紀尾井町ビル)
札幌販売部	〒065	北海道札幌市東区北48条東15-2-35
仙台販売部	〒983	宮城県仙台市宮城野区萩野町4-2-25
名古屋販売部	〒465	愛知県名古屋市中区一社3-100
広島販売部	〒731-01	広島県広島市安佐南区基園町3-32-1
高松販売部	〒760	香川県高松市福岡町2-13-17
福岡販売部	〒812	福岡県福岡市博多区豊2-4-19

TEL.06(339)3311(大代表)	FAX.06(338)9506
TEL.06(339)5588	FAX.06(338)9506
TEL.06(339)6150	FAX.03(3222)7422
TEL.03(5275)2737	FAX.03(3222)7422
TEL.03(5275)2733	FAX.011(731)6446
TEL.011(752)6364	FAX.022(284)0193
TEL.022(284)0191	FAX.052(702)8545
TEL.052(702)8522	FAX.082(871)5303
TEL.082(871)8317	FAX.0878(23)0920
TEL.0878(23)3371	FAX.092(413)8740
TEL.092(413)6156	

2台対戦でご使用になる場合

本機には、筐体2台を接続しての対戦機能が、標準で搭載されています。スーパーネオ29タイプIIの1P用と2P用をご用意いただくだけで、他にハーネス等は必要ありません。次頁に示された手順にしたがって、筐体を接続してください。

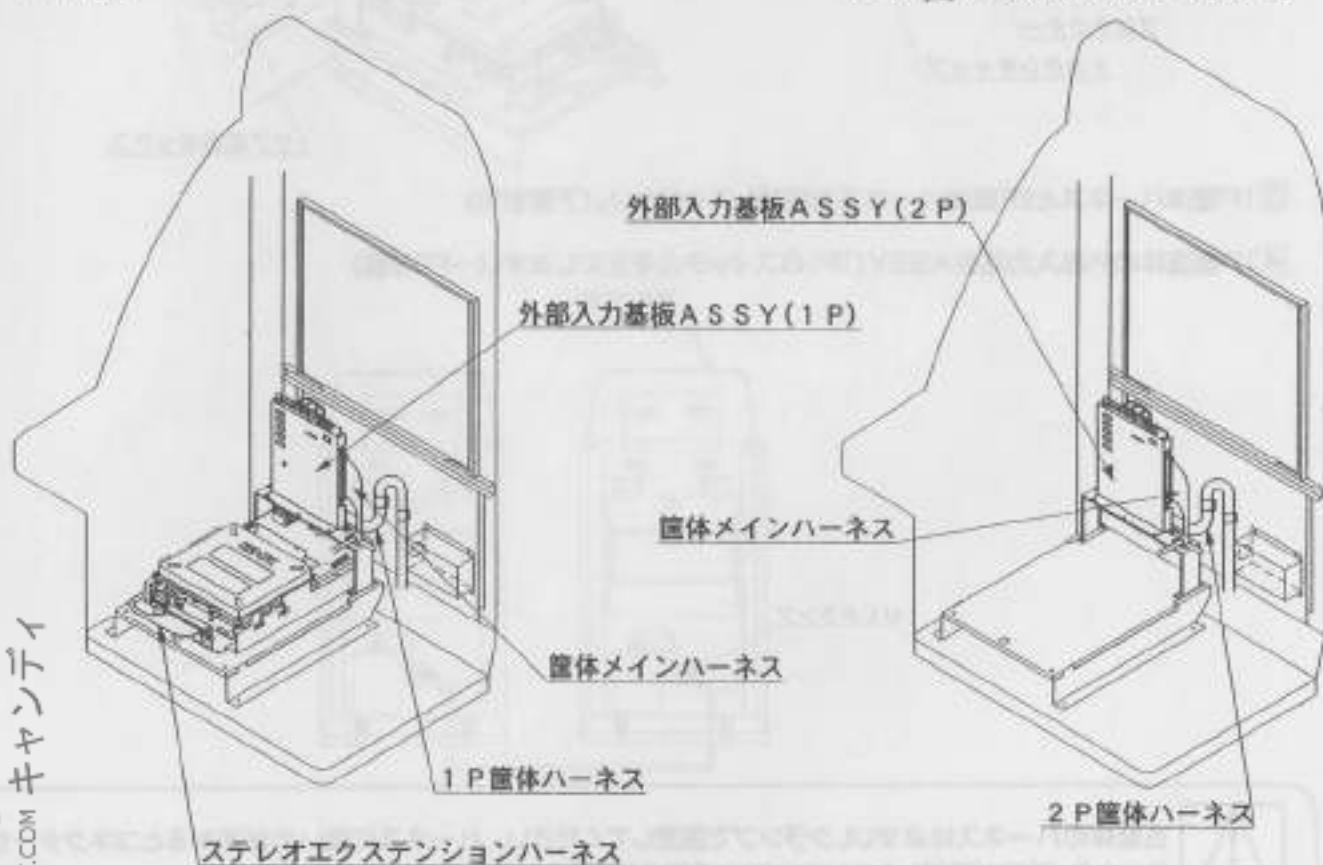


スーパーネオ29タイプII 本体の取扱説明書もあわせてお読みください。

●筐体内部

1 P 側

2 P 側 (単体では使用できません。)

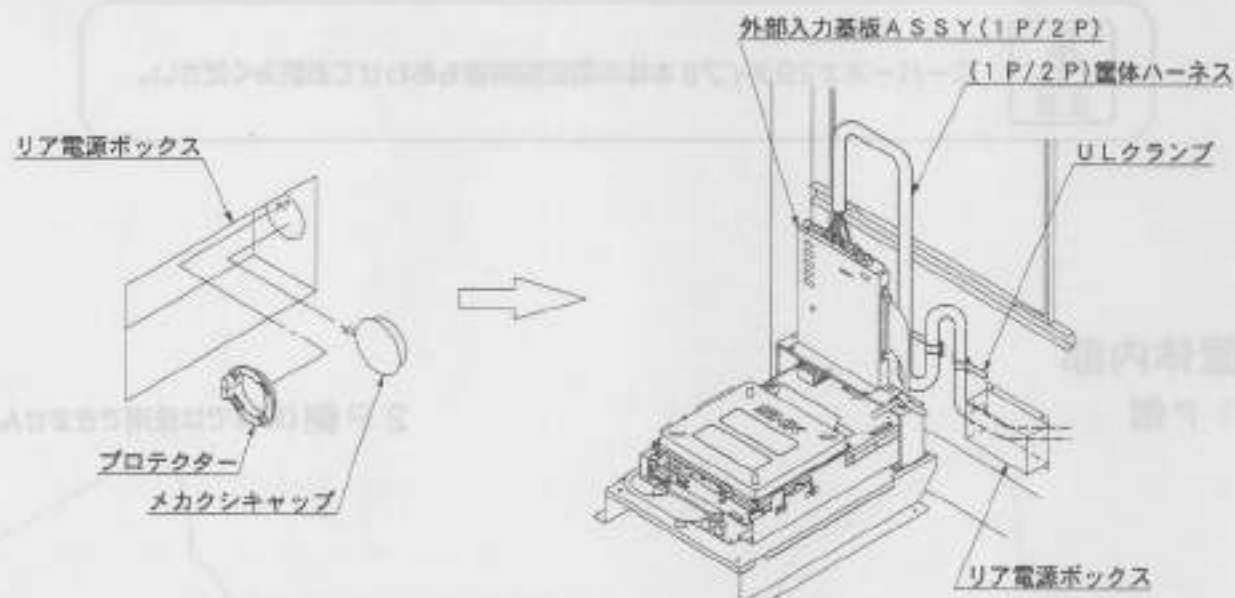


2台対戦時の接続方法

①リア電源ボックスのメカシキヤップを外し、筐体に付属のプロテクターを装着してください。

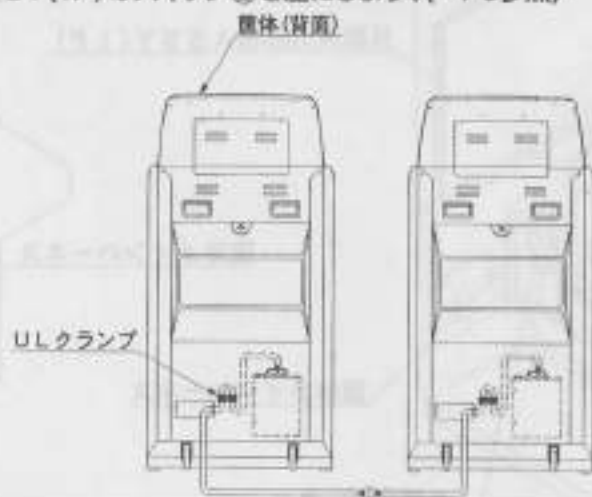
②リア電源ボックスの穴から、1P筐体ハーネスを引き出してください。

2P側も同様に、2P筐体ハーネスを引き出してください。



③1P筐体ハーネスと2P筐体ハーネスを接続してください。(下図参照)

④1P側筐体の外部入力基板ASSY(1P)のスイッチ⑤を左にします。(→P3参照)

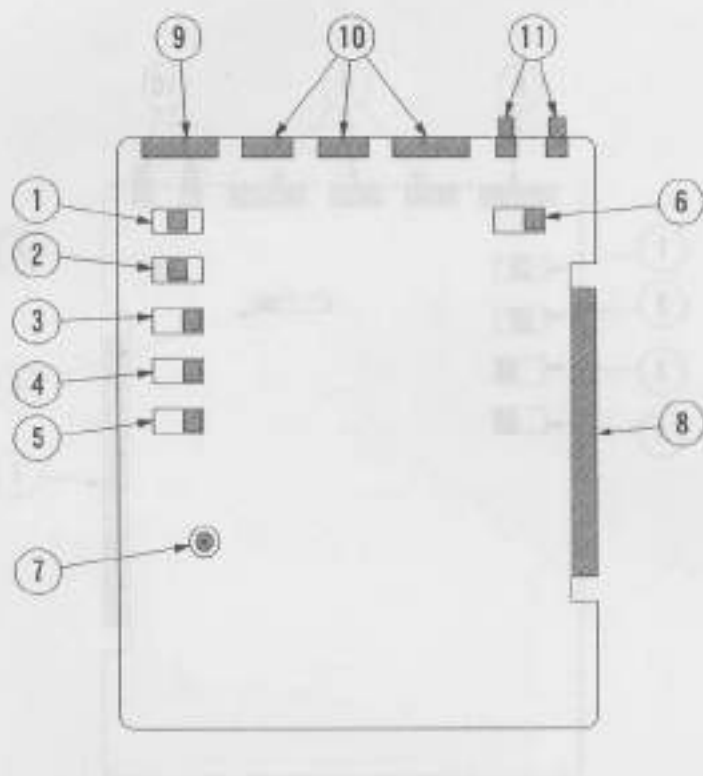


各筐体のハーネスは必ずULクランプで固定してください。ハーネスに強い力が加わるとコネクターが抜けたり、基板が破損したりして火災や感電の原因となります。

各筐体のハーネスと中継延長ハーネスは、足で引っ掛けたりしないように設置して下さい。事故やケガの原因となります。

外部入力基板ASSY(1P)の設定

外部入力基板ASSY(1P)は、筐体内蔵のゲーム基板からの情報を対戦相手筐体へ送信することができます。

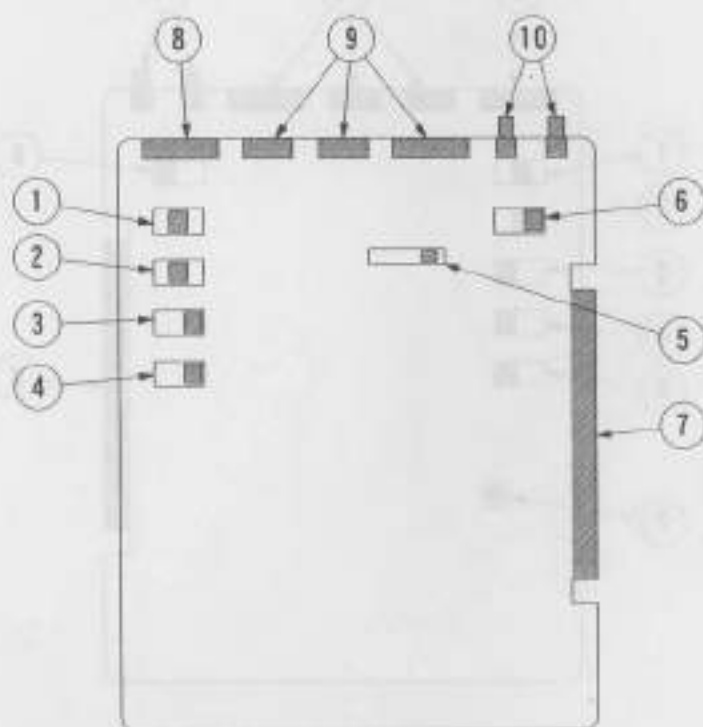


- | | |
|--------------------|---------------------------|
| ① ゲーム中表示切り替えスイッチ | (本機では使用しません) |
| ② デモ中表示切り替えスイッチ | (//) |
| ③ 表示切り替え時間スイッチ | (//) |
| ④ 表示切り替えトリガー選択スイッチ | (//) |
| ⑤ 対戦設定スイッチ | (左:2台対戦筐体の時 右:単独筐体の時) |
| ⑥ ビデオ入力終端スイッチ | (本機では使用しませんが右固定でご使用ください。) |
| ⑦ 表示切り替え時間微調トリマ | (//) |
| ⑧ JAMMAエッジコネクタ | |
| ⑨ 液晶サブモニター接続用コネクタ | (本機では使用しません) |
| ⑩ 1P筐体ハーネス接続用コネクタ | |
| ⑪ ビデオ端子 | (本機では使用しません) |

(入替時、電源は必ずOFF)

外部入力基板ASSY(2P)の設定

外部入力基板ASSY(2P)は、対戦1P側からのゲーム情報を内蔵CRTモニターに表示することができます。



① ゲーム中表示切り替えスイッチ (本機では使用しません)

② 井中表示切り替えスイッチ (//)

③ 表示切り替え時間スイッチ (//)

④ 表示切り替えトリガー選択スイッチ (//)

⑤ 音量ボリューム (右へスライドで大きくなります)

⑥ ビデオ入力終端スイッチ (本機では使用しませんが右固定でご使用ください。)

⑦ JAMMAエッジコネクター

⑧ 液晶サブモニター接続用コネクター (本機では使用しません)

⑨ 2P筐体ハーネス接続用コネクター

⑩ ビデオ端子 (本機では使用しません)

音量調整は、なるべく1P側の筐体で行い、⑤のボリュームを常に最大にして、必要に応じて調整してください。